

## 事業所(センター職員)における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年(2024年)2月 1日

事業所名 越谷市児童発達支援センター

職員数51人 回収数50人 割合98%

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	88%	12%	0%	・なるべく広く使用できるよう、椅子をテーブルの下に入れたりしています。 ・人数により活動時狭い時はホールを利用する等工夫しています。	・活動内容や人数に合わせ、スペースを確保する等今後も工夫していきます。
	②	職員の配置数は適切である	86%	14%	0%	・欠席の職員がいた時のカバー体制を整えています。	・職員配置は適切と考えています。 ・欠員の際は即時対応できるよう努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	98%	2%	0%		・利用者が安心安全に過ごせるよう、療育活動に応じた環境作りに配慮いたします。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	・気持ちよく過ごすことができるよう、毎日の清掃を丁寧に行っています。また、衛生面に配慮し感染症対策に努めています。	・引き続き、衛生面等に配慮し清潔で心地よく過ごせる環境となるよう取り組んでいきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標と設定を振りかえり)に、広く職員が参画している	88%	6%	6%		・職員間で話しやすい環境を作り、情報共有を図ります。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して、事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	94%	0%	6%	・毎年振り返りを行い、保護者の意向をふまえ業務改善につなげています。	・引き続き、保護者のニーズを把握し、ご意向を受け止め業務改善に努めてまいります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び、保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	94%	0%	6%		・評価表を各エリア内に掲示するとともにホームページで公表しております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	88%	4%	8%		・令和5年度に外部評価を行いました。評価結果を踏まえ、業務改善に繋げてまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	98%	0%	2%	・月に1回各専門職が工夫して実施するなど年間を通して研修を多く行っています。	・職員の資質向上となるよう、継続して行っています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	98%	0%	2%		・子どもと保護者ニーズや課題を把握し作成していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	96%	0%	4%		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	98%	0%	2%		・ガイドラインの示す支援内容を踏まえ、多職種の意見を取り入れ具体的な支援内容を作成していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	96%	0%	4%	・支援計画を確認しながら対応し達成できる目標を意識するようにしています。	・今後も継続して支援計画に沿った支援を行ってまいります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	96%	2%	2%		・多職種で話し合い活動プログラムを立案していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	98%	0%	2%	・児の特性に合わせて内容を工夫しています。	・引き続き、情報交換しながら、活動内容を見直し工夫してまいります。

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な支援の提供	①⑥	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を、適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	96%	2%	2%		・今後も継続していきます。
	①⑦	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や、役割分担について確認している	98%	0%	2%	・クラス内や、エリア内で必要に応じて打ち合わせを行い支援内容等について確認しています。	・引き続き、朝のミーティング等で役割分担や支援内容を確認してまいります。
	①⑧	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	98%	2%	0%		・話し合いの時間を工夫しながら、情報共有を図ります。
	①⑨	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	98%	0%	2%		・今後も、継続してまいります。
	②⑩	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	94%	4%	2%		・児に合わせて見直しを図ります。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②⑪	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	90%	6%	4%		・今後も、状況に応じて担当者が会議に参画していきます。
	②⑫	母子保健や、子ども・子育て支援等の関係者や、関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	0%		・引き続き、関係機関と連携を図り、適切に支援してまいります。
	②⑬	(医療的ケアが必要な子どもや、重症心身障害のある子ども等を、支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と、連携した支援を行っている	84%	8%	8%		・今後も、関係機関と連携を図り支援を行っていきます。
	②⑭	(医療的ケアが必要な子どもや、重症心身障害のある子ども等を、支援している場合)子どもの主治医や、協力医療機関等と連絡体制を整えている	84%	8%	8%		・主治医とは書面で情報共有しております。 ・お子さんの状況に応じて連絡体制の在り方について検討していきます。
	②⑮	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	88%	8%	4%		・引き続き、幼稚園、保育所等と支援内容等の「情報共有と相互理解を図っていきます。
	②⑯	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と、相互理解を図っている	90%	6%	4%		・引き続き、小学校や特別支援学校と支援内容等の情報共有と相互理解を図っていきます。
	②⑰	他の児童発達支援センターや、児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	94%	4%	2%	・必要に応じ、連絡をとり連携を図っています。また、研修は実施予定です。	・引き続き、必要に応じて他の児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けてまいります。
	②⑱	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	98%	0%	2%		・今後も、計画を立て交流する機会がもてるよう努めてまいります。
	②⑲	(自立支援)協議会子ども部会や、地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	53%	39%	8%		
	②⑳	日頃から、子どもの状況を保護者として伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	96%	0%	4%	・担当の児・保護者だけでなく、クラスの保護者と児の様子を密に伝えるようにしています。	
保護者への説明責任等	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	90%	8%	2%		・家族支援に繋がるペアレントプログラムの実施に努めてまいります。
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	98%	0%	2%		
	③③	児童発達支援ガイドラインの、「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び、支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から、児童発達支援計画の同意を得ている	94%	2%	4%		
	③④	定期的に保護者からの、子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	98%	0%	2%	・定期的な面談だけでなく、必要に応じて随時面談を行い対応しています。	・保護者からの相談に適切に応じ、助言や支援を行ってまいります。

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	92%	6%	2%		・引き続き、保護者会等をサポートしていきます。 ・保護者同士の連携が図れるようプログラムの時間を活用するなど工夫してまいります。
	③⑥ 子どもや、保護者からの相談や、申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	96%	0%	4%		・今後も、相談や申し入れに適切に対応してまいります。
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	94%	2%	4%		・情報配信システム(専用アプリ)や掲示を活用し情報を発信していきます。
	③⑧ 個人情報の取り扱いに十分注意している	100%	0%	0%	・研修を行い、十分に注意しています。	
	③⑨ 障害のある子どもや、保護者との意思の疎通や、情報伝達のための配慮をしている	98%	0%	2%		・今後も継続していきます。
	④⑩ 事業所の行事に、地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	65%	27%	8%	・おもちゃ図書館を開放しています。	・感染症の状況をみながら、地域に開かれた事業運営について検討してまいります。
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	0%		・策定した各マニュアルに基づき、訓練を実施してまいります。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	98%	2%	0%		
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	98%	0%	2%		・今後も継続していきます。
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	94%	2%	4%	・アレルギー児の対応について、整備しています。	
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	84%	12%	4%	・問題点をしっかり改善するように、皆が意識をもてるよう、ヒヤリハットがあった場合は書類に記入して速やかに報告し共有しています。	・引き続きヒヤリハットについて話し合い、情報共有を図ります。
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	98%	0%	2%		・引き続き、マニュアルを確認したり、講師を招いて研修を行う等適切に対応してまいります。
④⑦ どのような場合に、やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に、事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	94%	2%	4%		・引き続き、やむを得ず身体拘束を行った場合に保護者に説明するとともに、虐待防止委員会(身体拘束についても兼ねる)にて改善点等について検討してまいります。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。